



THERS Tech

東海国立大学機構統括技術センター

統括技術センター

(イノベーションコアファシリティステーション)

概要

技術系職員オンライン業務説明会

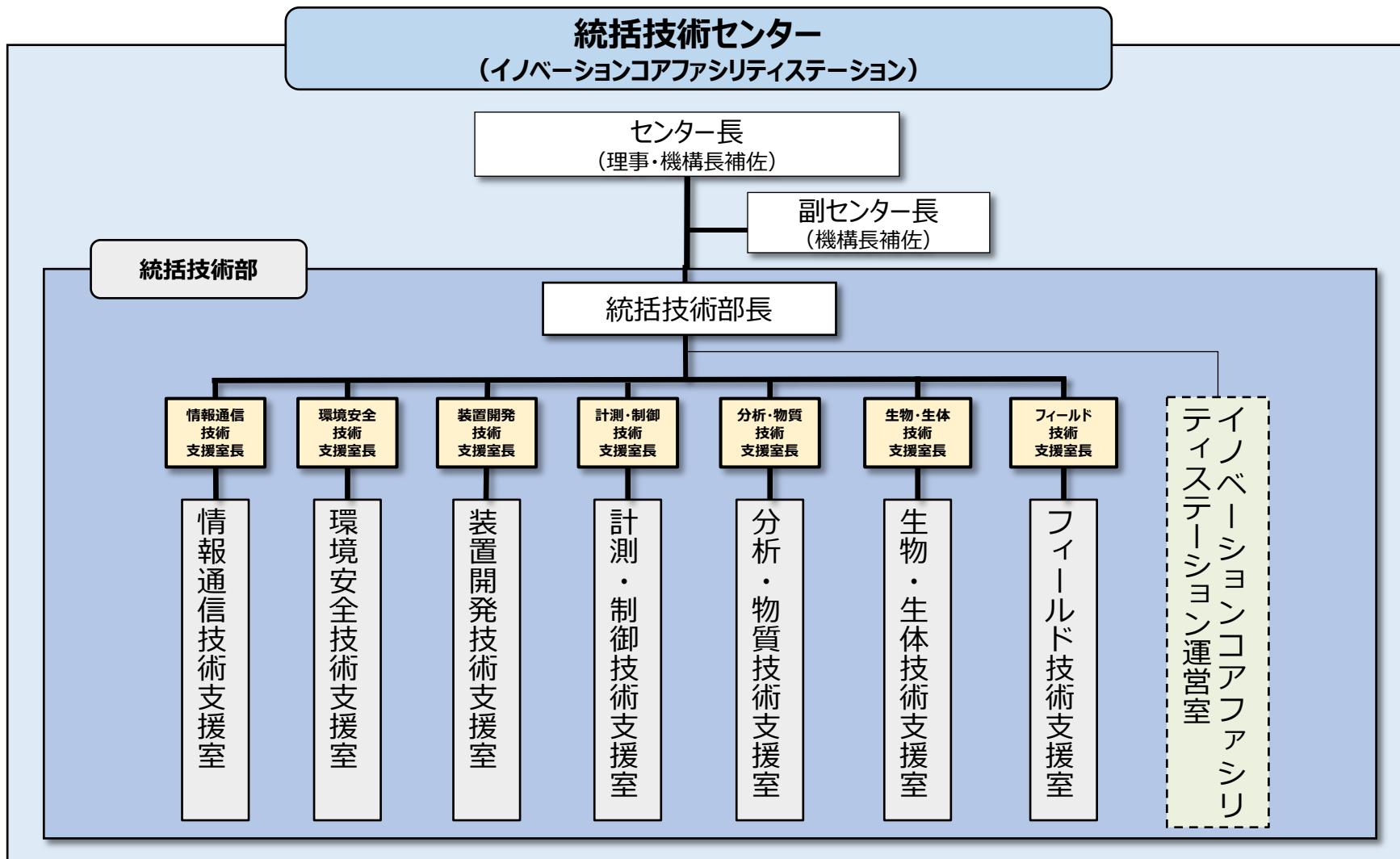
令和6年3月11日

<https://www.tech.thers.ac.jp/>



MAKE NEW STANDARDS.

東海国立
大学機構



岐阜大学全学技術センター

<https://tcgu.gifu-u.ac.jp/>

業務先

名古屋大学全学技術センター

<https://www.tech.nagoya-u.ac.jp/outline.html>



ごあいさつ

はじめに

利用内規

検索&予約

利用方法

設備・機器の登録

施設紹介

F A Q

使いたい研究機器が
そこにある



設備・機器の利用には、まず、利用者登録が必要です。

利用者登録
(初めての方)

設備・機器
検索&予約

リユース
検索

お問い合わせ

ログイン

機構アカウント

名大ID

機構外ID

施設紹介

機構内リンク

岐阜大学 共用推進支援センター
Research Equipment Sharing Promotion Center

岐阜大学 科学研究基盤センター
Life Science Research Center, Gifu Univ.

名古屋大学全学技術センター
設備・機器共用推進室

お知らせ

▶ 一覧表示

令和5年6月2日

▶ 機構アカウントでログインした場合の料金設定について修正対応を行いました。

名古屋大学全学技術センター

概要

❖ 名古屋大学全学技術センター規程（平成29年10月1日施行予定）

第1条 名古屋大学（以下「本学」という。）に、教育及び研究に対する技術的な支援並びに技術職員の能力等の向上及び技術の継承を行うことにより、本学の教育及び研究の発展に寄与するため、名古屋大学全学技術センター（以下「センター」という。）を置く。

第2条 センターは、前条の目的を達成するため、本学の部局からの要請に基づき技術職員を派遣し、当該部局に配置するとともに、本学構成員の依頼に応じた技術支援並びに本学の部局との連携による共用の設備及び機器の管理・運用に関する支援を行う。

第3条 センターに、技術部を置く。

2 技術部に、本学構成員の依頼に応じた支援業務を行うため、別表に掲げる技術支援室を置く。

3 前項に定めるもののほか、技術部に、設備・機器共用推進室及び企画室を置く。

全学技術センター

センター長
(理事・副総長)

技術部

技術部長

企画室

情報通信
技術
支援室長

情報通信
技術
支援室

環境安全
技術
支援室長

環境安全
技術
支援室

装置開発
技術
支援室長

装置開発
技術
支援室

計測・制御
技術
支援室長

計測・
制御
技術
支援室

分析・物質
技術
支援室長

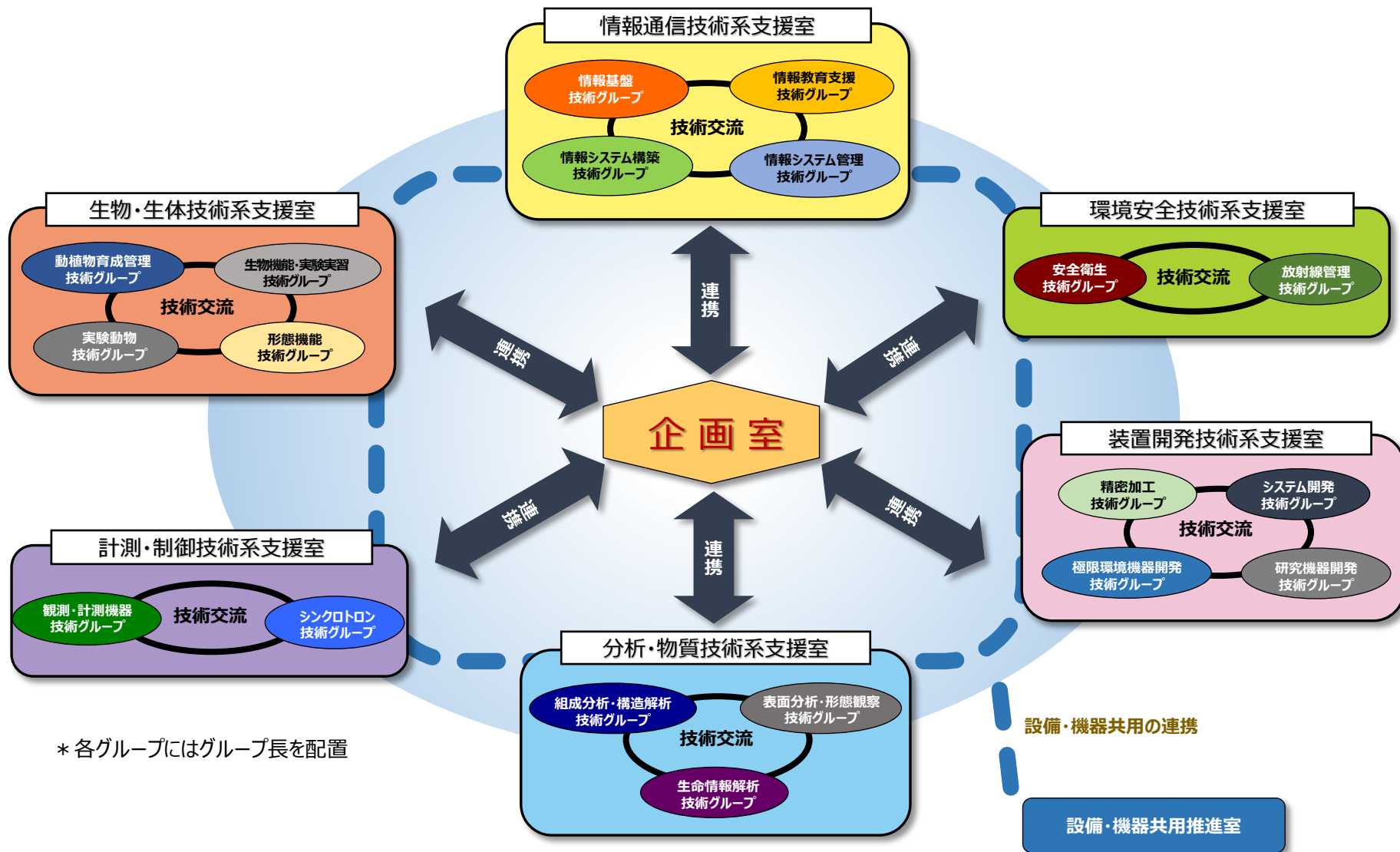
分析・
物質
技術
支援室

生物・生体
技術
支援室長

生物・
生体
技術
支援室

設備・
機器
共用
推進室

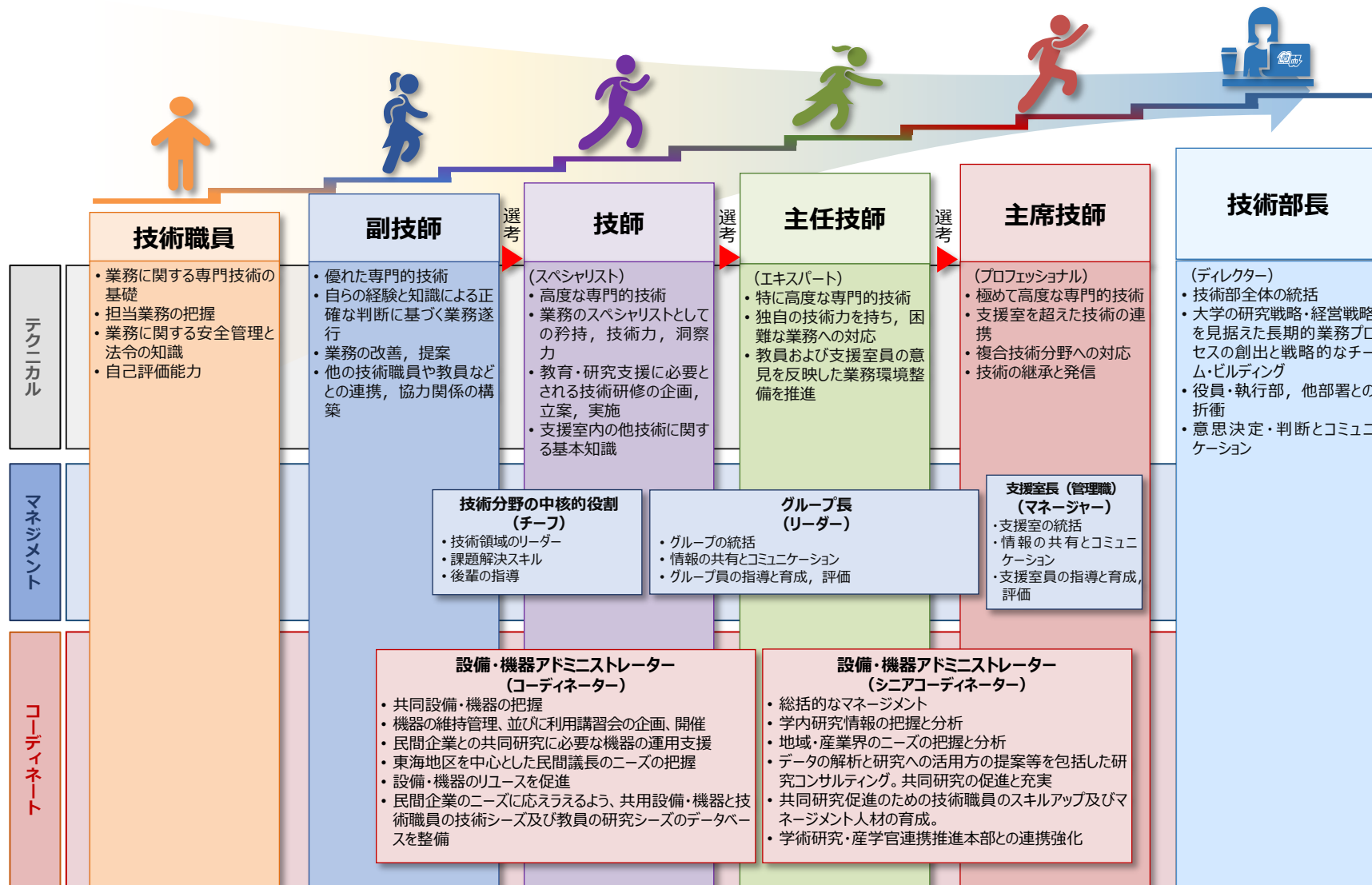
管理職 (課長相当)



* 各グループにはグループ長を配置

技術支援室	技術グループ	技術グループの主な所掌業務
情報通信技術支援室	情報基盤技術グループ	●全学的な情報技術支援
	情報教育支援技術グループ	●教育・研究に関する情報技術支援
	情報システム管理技術グループ	●情報システムの管理・運用に関する技術支援
	情報システム構築技術グループ	●情報システムの開発・構築に関する技術支援
環境安全技術支援室	安全衛生技術グループ	●環境安全管理・防災に関する技術支援
	放射線管理技術グループ	●放射線, 放射性物質, 放射線施設の安全管理に関する技術支援
装置開発技術支援室	精密加工技術グループ	●金属, 非金属, ガラス, 脆性材料などの形状加工に関する技術支援
	研究機器開発技術グループ	●特殊な研究・教育用実験機器の設計, 製作, 測定に関する技術支援
	システム開発技術グループ	●3DCAD, CAEなどのデジタルエンジニアリングからメカトロニクスに関する技術支援
	極限環境機器開発技術グループ	●宇宙空間, 高真空, 極低温などの極限環境下の実験機器開発に関する技術支援
計測・制御技術支援室	計測機器技術グループ	●観測・計測機器の開発, 改良に関する技術支援
	観測技術グループ	●観測・計測機器の運用, 保守, 改良に関する技術支援
	シンクロトロン光技術グループ	●光源加速器, ビームライン機器の運用, 保守, 制御に関する技術支援
分析・物質技術支援室	組成分析・構造解析技術グループ	●物質の定性・定量・位置・形状の解析に関する技術支援
	表面分析・形態観察技術グループ	●物質の表面・界面の組成, 構造・状態, 形状の解析に関する技術支援
	生命情報解析技術グループ	●生物・生体試料に係る形態観察, 各種分析・解析に関する技術支援
生物・生体技術支援室	動植物育成管理技術グループ	●動植物育成管理及び関連施設・設備の維持管理
	生物機能解析・実験実習技術グループ	●生物試料の採取・作製・解析及び実験実習の技術支援
	生体機能解析技術グループ	●系統・病理・法医解剖の技術支援及び各種試料・標本作製
	実験動物技術グループ	●実験動物飼育管理及び発生工学技術支援

キャリアパス (5職階)



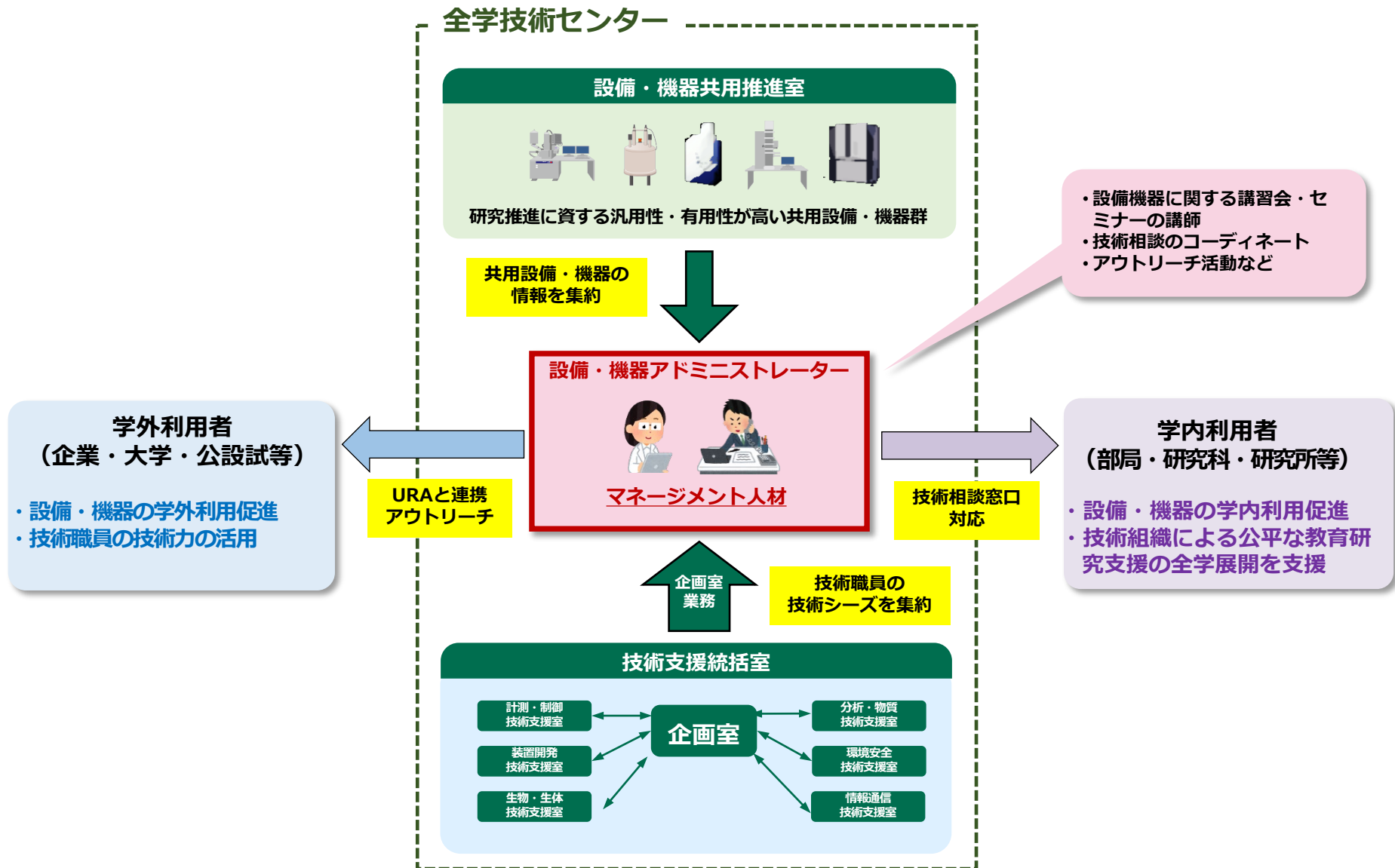
名古屋大学技術職員に求められる職員像

常に名古屋大学の発展を念頭に置き、法令を遵守して実務経験を重ねると共に、以下の事項を心掛けて依頼者の負託に応えていく

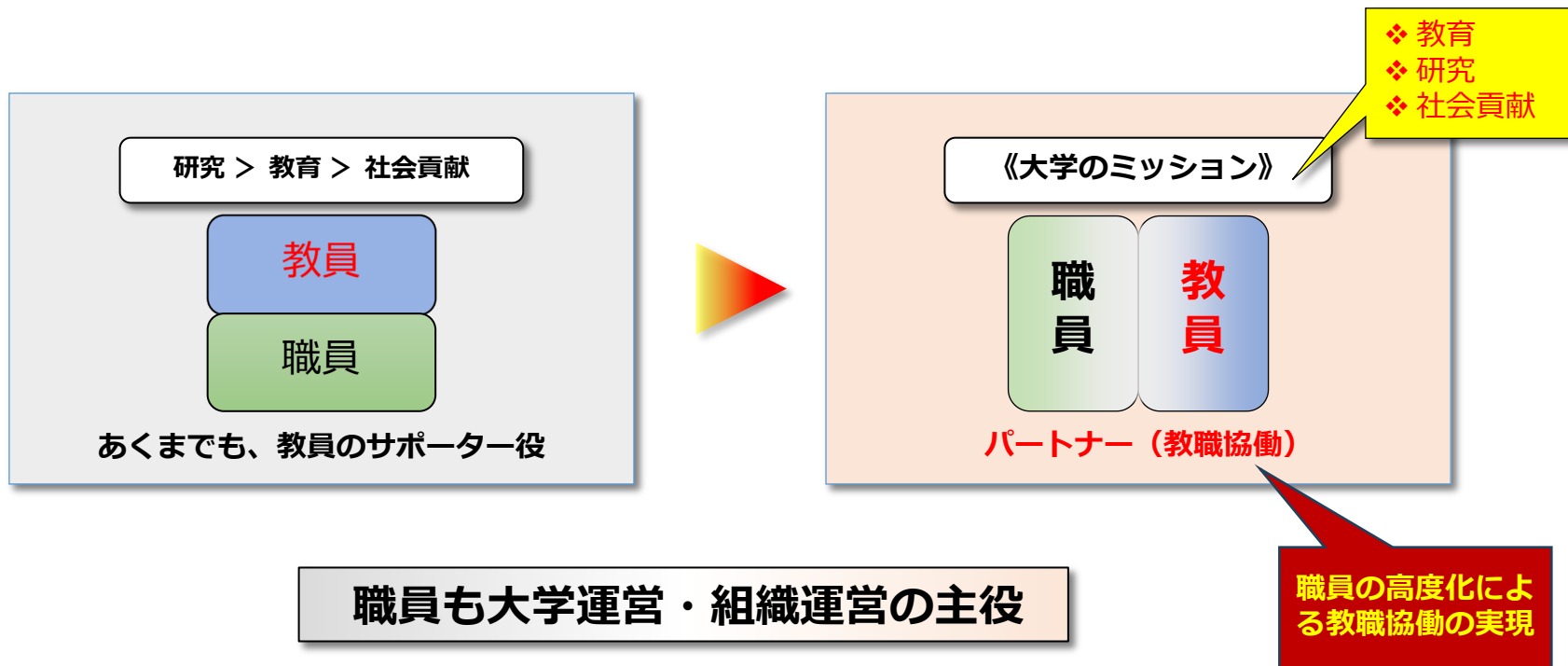
1. 研究者など業務依頼者と良好な関係を構築すると共にその研究内容に精通し、的確な技術を提供する事により、高い信頼を獲得する
2. 常に向上心を持ち続けて専門技術の高度化を目指すと共に新技術へも目を向け、幅広い技術に精通する
3. 教育・研究活動を通じて得られた大学独自の技術を育み、保存し継承・発展・発信する
4. 協調性、コミュニケーション能力を持ち、教員、事務職員、URAのパートナーとして業務を遂行する
5. 企画力、マネジメント能力及び高度な技術力を備えた職業人として業務に臨む

支援室ごとに必要とされる主な業務知識

支援室	情報通信	環境安全	装置開発	計測・制御	分析・物質	生物・生体
必要とされる主な業務知識・分野	<ul style="list-style-type: none"> スーパーコンピュータの運用管理 ネットワークの運用管理 教育システムの運用管理 情報サービスの運用管理 情報システム全般の運用管理 実験及び実習の支援と指導 	<ul style="list-style-type: none"> 放射線、放射性物質及び放射線施設の安全管理 環境安全管理及び防災 安全衛生管理 実験及び実習の支援と指導 	<ul style="list-style-type: none"> 教育研究実験装置等の開発、試作、設計製作 機械加工 電気及び電子回路並びに制御機器の製作等 ガラス加工 液体ヘリウム・液体窒素の供給、液化装置の運転・維持 実験及び実習の支援と指導 	<ul style="list-style-type: none"> 観測装置及び計測機器の開発、運用保守及び改良 光源加速器及びビームライン機器の運用保守及び改良 実験及び実習の支援と指導 	<ul style="list-style-type: none"> 表面分析及び形態観察による試料分析 組成分析及び構造解析による試料分析 分析機器の維持、管理 研究用試料、材料の調整及び作製並びに分析方法等の開発 実験及び実習の支援と指導 	<ul style="list-style-type: none"> 動植物育成管理及び施設、設備の維持管理 生物試料の採取、作製及び解析 系統、病理及び法医学解剖並びに各種試料、標準作製 実験動物飼育管理及び発生工学 実験及び実習の支援と指導



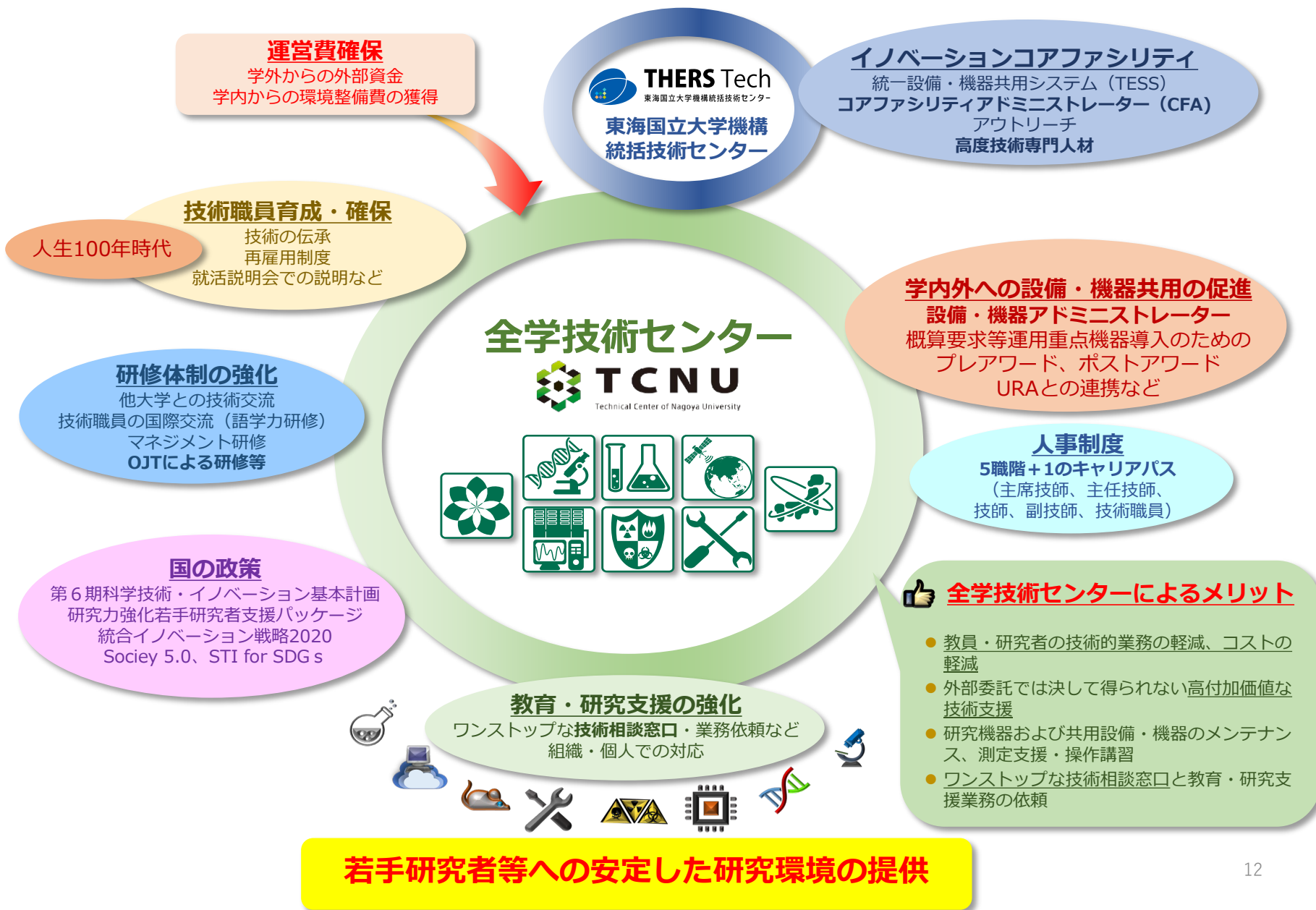
統括技術センターでは、コアファシリティアドミニストレータ（CFA）



今後、各大学による一層の改革が求められる中、事務職員が**教員と対等な立場での「教職協働」**によって大学運営に参画することが重要であり、**企画力・コミュニケーション力・語学力の向上、人事評価に応じた処遇、キャリアパスの構築等**についてより組織的・計画的に実行していくことが求められる。

また、前述のURAやアドミッション・オフィサー、カリキュラム・コーディネーターをはじめとする、**高度の専門性を有する職種や、事務職員等の経営参画能力を向上させるため、大学が組織的な研修・研究（スタッフ・ディベロップメント（SD*））を実施することも重要である。**

*スタッフ・ディベロップメント（SD）はH29年度より義務化



名古屋大学の輝かしい功績

- ❖ ノーベル賞受賞者：
2001年化学賞（教授）、
2008年物理学賞（卒業生2）、化学賞（元助教授・博士号）
2014年物理学賞（教授2）
★これら輝かしい功績には技術支援を行った技術職員の存在がある。

技術支援の役割

- ❖ 独創的研究は高度な技術の上に生まれる
- ❖ 高度な教育には技術的な支援が必要
- ❖ 環境と安全・衛生は教育研究を行う組織の命
- ❖ 情報通信ネットワークは教育・研究と「仕事」を高度化する